

普及活動情勢報告（令和４年１月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

これからのデータ駆動型営農指導を学ぶ！・・・幡多地区でのデータ駆動型営農指導研修会・・・



農振センター・JA職員が研修中

12月20日に幡多農業振興センター会議室でデータ駆動型営農指導の研修会が開催され、農業改良普及課職員14名、JA営農指導員10名の計24名がデータ駆動型営農指導について学びました。

高知県データ駆動型農業推進アドバイザーと農業イノベーション推進課の2名が講師となり、データ駆動型農業の概要やBIツール「Tableau」によるデータ接続、営農指導で使用する予定の分析診断方法について、グループでパソコンを使って実際に操作を行いました。

農業改良普及課はJA営農指導員と連携して、BIツールの効果的な活用などデータ駆動型による営農指導に取り組んでいきます。

クリで耕作放棄対策を！

・・・クリ新植準備指導・・・



1月7日、四万十市西土佐西ヶ方および高瀬地区で、水田転換園でのクリ新植前の準備について講習会を行い、四万十町でクリを買い上げている（株）四万十ドラマと、これから栽培する（株）しまんと清流野菜が参加しました。

農業改良普及課は、排水改善対策や土づくりおよび栽植密度について説明し、生産者から理解を得られました。

今後、高南農業改良普及所と協力して、順調に生長するよう支援をしていきます。

さらなる経営改善に向けて！

・・・西土佐大宮地区青色申告勉強会・・・



1月13日、四万十市西土佐大宮生活改善センターで、青色申告勉強会を開催し、生産者5名の参加がありました。

農業改良普及課は、複式簿記の考え方や青色申告の手続きなど、基本的な内容と青色申告に取り組むメリットについて説明しました。

生産者からは「思ったほど複雑ではなさそう」、「会計ソフトを使えばすぐ仕分けができることがわかった」などの感想が聞かれました。

農業改良普及課は、青色申告申請実施に向けて、継続して支援していきます。

水稻農家 所得向上に向けて！・・・土佐清水市下ノ加江・三崎水稻部育苗等講習会・・・



1月13日、土佐清水市下ノ加江・三崎地区の2箇所で、水稻栽培講習会を開催し、22名の参加がありました。

農業改良普及課は、育苗管理・土づくり・飼料用米品種紹介・改正種苗法について情報提供を行いました。参加者からは、「品種の変更をするべきか」、「窒素量はどれくらい必要か」など飼料用米品種について熱心な質問がありました。

農業改良普及課は、今後も定期的に講習会を開催し、所得向上に向けて情報提供を行います。

宗呂地区の今後を考えよう！・・・土佐清水市宗呂の3集落若手意見交換会・・・



1月15日に土佐清水市宗呂地区で、3集落(宗呂上・宗呂下・下川口)の若手住民12名、集落役員4名、(農)ふぁー夢宗呂川組合員7名、関係機関5名の計28名が参加し、宗呂地区の今後について、意見交換を行いました。

意見交換会では、法人代表による組織紹介後、農業改良普及課は12月に3集落の若手住民に行ったアンケートの結果報告を行いました。意見交換では、「集落・法人の維持には若い人材の確保が必須」、「空いている時は、法人の取組を手伝えるかもしれない」などの声がありました。

農業改良普及課は、今回出た意見をもとに、(農)ふぁー夢宗呂川の世代交代に向けた取組みを支援していきます。